

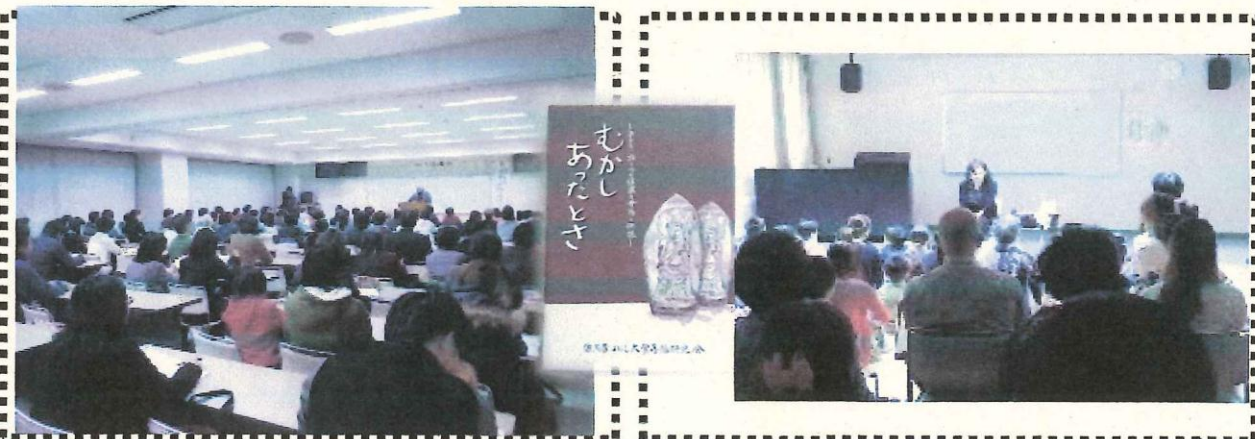
佐久市佐久つと支援金事業 自己評価報告書

評価日 平成27年 3月 3日

団体名	佐久昔ばなし再話研究会		
事業名	語りのおもてなし		
対象経費	2,714,430円	支援金額	330,000円

事業の目的・内容	目的 昔話は、口伝の文学であるがゆえに、子どもが耳で聴いて場面を思い浮かべるための様式が整い、一定の法則を持っている。本事業では新奇性や刺激ではなく、大人が語る言葉を子ども達が耳で聴いて想像をふくらませるといった良質な文化(口承文芸)の体験を、語りの会を通して広げるとともに、再話集の製作配布によって子ども達がそうした昔話に触れ楽しむことができる素材を広く地域に提供していく。
	内容 1 藤井いづみ氏による語りの会『語りのおもてなし』 専門家による語りの会を開く。 2 語りの会 岩村田のおいでなん処で、毎月1回、会員による語りの会を開く。 3 小澤俊夫氏講演会『私たちは昔話の伝承の途中にいる』子どもの育ちにとって聴くことの重要な意味をお話いただく。 4 再話集『むかしあったとさ』出版、配布。研究会で再話してきた地域の昔話と伝説を、地域や家庭で手軽に聴いたり語ったりできるよう、教育関係施設等へ寄贈する。

事業の活動実績	1 藤井いづみ氏による語りの会『語りのおもてなし』 語りの専門家による語りにお話を楽しみ機会とした。 期日 9月7日(日) 10:00および14:00 場所:佐久勤労者福祉センター 参加者 のべ140人 地域の親子連れ一般参加。
	2 語りの会 おいでなん処語りのおもてなし 地域の保育園、幼稚園、学校での語りに加え、新たに岩村田商店街おいでなん処にて月1回、『おいでなん処語りのおもてなし』を開催し、子ども達が自由にお話を聞く場とした。開催にあたって岩村田小学校PTA教養部を通して呼びかけを行った。 8/9 9/6 10/4 11/8 12/13 1/10 2/14 いずれも土曜日 14:15~ のべ61人参加
	3 小澤俊夫氏講演会『私たちは昔話の伝承の途中にいる』 子どもの育ちにとっての昔話の意味を研究者の立場から講演していただき、お話の選び方を学ぶ機会とした。 期日 12月2日(火) 18:00 場所 佐久勤労者福祉センター 参加者 117人 地域の一般参加。
	4 再話集『むかしあったとさ』出版、配布 地域や家庭で手軽に良質なお話を聴いたり語ったりできるよう、研究会で再話してきた語り口調の昔話を本にまとめ、佐久地域および大町市の保育・教育関係施設等に配布した。 再話集『むかしあったとさ』製作 3,000冊 配布:1月末現在2,976冊を配布(詳細別添)



事業の成果・効果	1 藤井いづみ『語りのおもてなし』はのべ140名参加。 午前子どもを対象とし、幼児から中学生まで30名ほどの子どもたちと、大人の方50名程度の参加があった。語り3話、絵本の読み聞かせ2冊。 午後は大人向けのお話や絵本を選定していただいた。小学生も含め、約60名の参加。語り5話、読み聞かせ1冊。 語りの専門家が語るお話を耳をかたむけ、お話をひたる時間となった。 また、地域で行っている語りの会や、出版予定の再話集についても参加者に広報し、関心をもっていただけた。
	2 これまでの語りの会(対象月平均約700名)に加えて地域の施設(おいでなん処)を活用した定期的な語りの会の設定により、当該地域を中心に、大人を含めてお話にふれる場を提供できた。平成27年度開校の佐久平浅間小学校での語りの会実施の計画にも結び付いた。今後は佐久昔ばなし大学語り研究会の協力を得ながら、より充実した語りの会の運営を目指す。
	3 小澤俊夫講演会は117名参加。子どもの育ちにとって昔話がつもつ意味や子に関わる文化の質の問題について学ぶ機会となった。一般の方やお話し会等に関わる参加者が多く、講演内容が地域での取り組みに直接伝わる波及効果も期待できる。 当日参加者に再話集『むかしあったとさ』を配布。
	4 製作した再話集『むかしあったとさ』を、佐久地域及び大町市の保育園(63園)、幼稚園(16園)、小中学校(68校)、公共図書館(14館)、児童館(33館)のほか、語りのおもてなし参加者、教育関係機関等へ配布した。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 <input checked="" type="radio"/> できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 <input checked="" type="radio"/> できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 <input checked="" type="radio"/> ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	出版した再話集を活用したり、佐久昔ばなし大学語り研究会の協力を得たりしながら、語りの会の拡充と安定した開催を図り、お話の体験を広げていく。 ・地域での語りの会を、定例で安定した開催とする。 ・保育、教育関係施設での語りの会を充実させ拡大していく。
---------	---